

## 除草剤

# ゴゴザン<sup>®</sup> 乳剤

®=BASF社の登録商標

除草剤分類 **3**

有効成分

ペンディメタリン(PRTR・1種) …… 30.0%

登録番号：第22176号

性 状：暗褐色澄明可  
乳化油状液体

毒 性：普通物\*

危 険 物：二石・水溶性・Ⅲ

有効年限：5年(500ml、2ℓ)  
3年(5ℓ)

包 装：500ml×20本  
2ℓ×10本  
5ℓ×4本



\*普通物：毒劇物に該当しないものを指している通称

## ■特長

- 雑草発生前の土壌処理でイネ科・広葉雑草を同時に防除します。
- 雑草の発生を40～60日間と長期間抑制します。
- 土壌の種類、温度、日照などの条件によらず、安定した効果を発揮します。

## ■適用雑草と使用方法

(2022年5月20日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
陸稲	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	200～ 400ml /10a	70～ 150ℓ /10a	1回	全面土壌散布	1回
麦類 (小麦を除く)			300～ 500ml /10a				
小麦		は種後(雑草発生前) ～小麦2葉期(イネ科雑草1葉期まで)	70～ 100ℓ /10a	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布			
ソルガム		ソルガム3葉期 (雑草発生前～ 発生始期)	300ml /10a				
とうもろこし 飼料用 とうもろこし ヤングコーン		は種後出芽前 (雑草発生前)	300～ 400ml /10a	70～ 150ℓ /10a		全面土壌散布	
			200～ 400ml /10a				

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数			
			薬量	希釈水量						
かんしょ	一年生雑草	挿苗10日後まで (雑草発生前)		100ℓ /10a	1回	畦間土壌散布	1回			
さといも		植付後萌芽前 (雑草発生前)	200～ 400mℓ /10a	70～ 100ℓ /10a		2回以内 (土寄せ後の 処理は1回以内)				
		土寄せ後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで		100ℓ /10a						
ばれいしょ		植付後萌芽前 (雑草発生前)	200～ 300mℓ /10a	70～ 100ℓ /10a		全面土壌散布	1回			
やまのいも			200～ 400mℓ /10a	100ℓ /10a						
こんにゃく		植付後又は培土後 (雑草発生前) 但し植付30日後まで	200～ 300mℓ /10a	70～ 100ℓ /10a						
はくさい		定植前 (雑草発生前)	200～ 400mℓ /10a	70～ 150ℓ /10a						
キャベツ カリフラワー レタス 非結球レタス										
うど		定植後萌芽前 (根株養成圃) (雑草発生前)	400mℓ /10a	100ℓ /10a				1回	畦間土壌散布	2回以内 (畦間処理は 1回以内)
		生育期(根株養成圃) (雑草発生前) 但し収穫60日前まで								
たまねぎ (直播栽培)		は種後～ 本葉2葉期 (雑草発生前)	200～ 400mℓ /10a	70～ 100ℓ /10a						
たまねぎ (移植栽培)		定植前 (雑草発生前)	300～ 500mℓ /10a	70～ 150ℓ /10a					全面土壌散布	1回
		定植後 (雑草発生前) 但し収穫30日前まで								
葉たまねぎ		定植前 (雑草発生前)								
らっきょう		植付後萌芽前 (雑草発生前)								
ねぎ		定植後 (雑草発生前) 但し定植10日後まで	200～ 300mℓ /10a	70～ 100ℓ /10a						
にら				100ℓ /10a						
にんにく	植付前(マルチ前)	300～ 500mℓ /10a	70～ 150ℓ /10a	全面土壌散布						
	植付後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで		70～ 100ℓ /10a							

作物名	適用 雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用 回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬 の総使用回数
			薬量	希釈水量			
葉にんにく (マルチ栽培)	一年生雑草	植付前(マルチ前)	400～ 500mℓ /10a	70～ 150ℓ /10a	1回	全面土壌散布	1回
葉にんにく (マルチ栽培 を除く)		植付前					
らっかせい		植付後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで	300～ 400mℓ /10a	100ℓ /10a			
にんじん		は種後出芽前 (雑草発生前)	200～ 300mℓ /10a	70～ 150ℓ /10a			
アスパラガス		萌芽前 (雑草発生前)	200～ 400mℓ /10a				
しょうが		植付後萌芽前 (雑草発生前)					
ふき(春どり 露地栽培)		春期収穫直後から 萌芽前まで (雑草発生前)	400mℓ /10a				
ふき (ふきのとう)		春期ふき収穫直後 から萌芽前まで (雑草発生前)					
とりかぶと (薬用)		生育期 (雑草発生前) 但し収穫90日前まで	300～ 500mℓ /10a	100ℓ /10a			
おけら		収穫60日前まで (雑草発生前)	200～ 300mℓ /10a	70～ 150ℓ /10a			
みしまさいこ とうすけぼうふう びゃくし		は種後出芽前 (雑草発生前)	300mℓ /10a	100ℓ /10a	1回	1回	
せんきゅう		萌芽後(雑草発生前) 但し収穫120日前まで					
とうき いんちんこう		定植後(雑草発生前) 但し収穫120日前まで					
食用ぎく		定植前(雑草発生前)	200～ 400mℓ /10a	70～ 150ℓ /10a	1回	1回	
きく		定植後(雑草発生前)					
りんどう		萌芽前(雑草発生前)					
チューリップ		植付後萌芽前 (雑草発生前)	300～ 500mℓ /10a	100～ 200ℓ /10a	2回 以内	2回以内	
すぎ(床替床) ひのき(床替床)		床替後 (雑草発生前)	400～ 500mℓ /10a				
桑		春期発芽前 又は夏切後 (雑草発生前)	300～ 400mℓ /10a				
甘草		は種後出芽前 (雑草発生前)	300mℓ /10a	100ℓ /10a	3回以内 (1年間に 1回以内)	3回以内 (1年間に 1回以内)	
	定植後(雑草発生前) 但し収穫90日前まで						
	越冬後萌芽前 (雑草発生前)						

# マイナー作物等の登録拡大に伴いグループ化した作物名

グループ化した作物名	含まれる作物(品種)
非結球レタス	かきちしゃ、サラダ菜、立ちちしゃ、美味タス、リーフレタス

農薬登録における作物群の作物名について(2021年1月14日改正)「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用作物等の名称について」(2019年3月29日付け30消安第6281号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知)農林水産消費安全技術センターホームページをご参照ください。

<http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/6281.pdf>

表の使用に際しては以下の事項に留意してください。

注1 現在、農薬の適用作物には含まれていない作物を含みます。適用作物に含まれていない作物については、農薬登録時にその名称が変更される場合があります。

注2 品種名及び栽培条件(施設栽培等)等については省略している場合がありますが、農薬登録時に品種名又は栽培条件等の指定がある場合は、当該品種又は栽培条件等にのみ使用できるものです。

## ⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前～発芽時に有効ですが、雑草の生育が進むと急激に効果が低下するので、使用時期を失わないように散布してください。
- 本剤はイネ科および広葉の一年生雑草に効果がありますが、キク科雑草とツユクサには効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場では使用しないでください。
- 土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣るので、希釈水量を多めにするかまたは降雨後に散布してください。
- 碎土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行ってください。
- 砂土では使用しないでください。
- はげしい降雨が予想される時には使用をさけてください。
- 散布にあたっては、他作物に飛散しないよう十分注意して使用してください。
- 水田裏作の麦に使用する場合、排水不良の畑では使用をさけてください。
- ソルガムに使用する場合、覆土深は3cm以上としてください。また散播では使用しないでください。
- 桑にはかからないように注意してください。
- キャベツ、はくさい、レタス及び非結球レタスのセル成型苗には薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
- 本剤はマルチ栽培のとうもろこしに薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- うど及びいらで畦間土壌散布を行う場合、飛散防止カバーを使用して作物にかからないように散布してください。
- かんしょで畦間土壌散布を行う場合、薬液が作物に飛散すると葉の奇形症状の薬害を生じるおそれがあるので、作物に飛散しないように注意してください。
- たまねぎの直播栽培では薬害を生じるおそれがあるので、初めて使用する場合は事前に薬害の有無を十分に確認してから使用することとし、は種深度は2cm以上としてください。
- たまねぎの秋播の直播栽培では、処理後に低温が続く条件では生育抑制等の薬害を生じるおそれがあるので、たまねぎの1～2葉期に使用してください。

- きくの品種、栽培条件などによっては黄化、抑制等の薬害を生じるおそれがあるので、本剤を初めて使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 本剤は衣服(白衣)などに散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## 〈非結球レタスについて〉

- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## ⚠ 安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布液調製時および散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

**魚毒性**…使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保 管**…火気をさけ、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な場所に密栓して保管してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、  
またはクリックしてください。

